

知って学ぶ

事故防止への近道

ヒヤリハット 事例集



日々の体験から

一人ひとりが気付いたことを

共有することが大事！

公益社団法人 千葉市シルバー人材センター

はじめに

千葉市シルバー人材センターでは、会員の皆様が健康で安全・安心に就業を続けられるように「安全・適正就業の推進」を事業運営における基本方針として掲げています。近年の当センターにおける事故状況については、年度によって増減はあるものの傷害事故、賠償事故ともに毎年発生しており、2021年度は21件、2022年度は14件の賠償事故が発生するなど、さらなる安全対策強化が求められる状況にあります。こうした状況を踏まえ、会員各人が事故を自分事として捉え事故防止に取り組む意識啓発を図るためにヒヤリハット事例集を作成しました。

「ヒヤリハット」とは、災害には至らなかったものの、一歩間違えれば災害になっていたかもしれない「ヒヤリ」としたり「ハッ」とした経験(運が悪ければ怪我をしていたかもしれない事故や、不安全な状態又は行動によって驚いたこと)を意味します。日々の体験から一人ひとりが気づいたことを共有することが、事故防止への近道です。本事例集が、皆様の危険に対する感受性を高め、安全意識の高揚を図る上で一助となれば幸いです。

知っていますか？

ハインリッヒの法則



「1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故があり、さらにその背後には300件の軽微な異常（ヒヤリ・ハット）が潜んでいる」というある工場での調査結果に基づいて提唱されており、別名 1:29:300の法則とも呼ばれます。重大事故を防ぐには、小さなミスやヒヤリ・ハットの情報を把握し、未然の対策を講じる必要があります。

そして、この法則を事故防止に役立てるためには、作業従事者全員が安全意識を高く持ってヒヤリ・ハットに目を向けることが重要となります。



目次

01 除草作業 7P~

02 剪定作業 35P~

03 自転車管理 67P~

04 障子・襖張作業 77P~

05 屋内・屋外作業 87P~

06 就業途上 115P~
